



## 梅雨明け時の集中豪雨・台風への 対策を行いましょ！



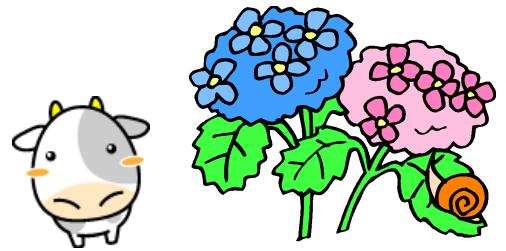
今年は季節外れの台風到来後に梅雨入りし、梅雨明けは7月中旬と予想されています。

例年以上に豪雨等による地盤のゆるみ、畜舎への雨水の浸入が予想されますので準備をしておきましょう。

### ① 採草地では → 排水溝などの点検

湿害による生育不良や雨後の機械作業に支障が出ます。

- ・ 排水溝を点検し詰まりを取り除く。
- ・ 圃場の水はけを点検整備する。



### ② 畜舎では → 畜舎周りの排水溝、樋などの点検

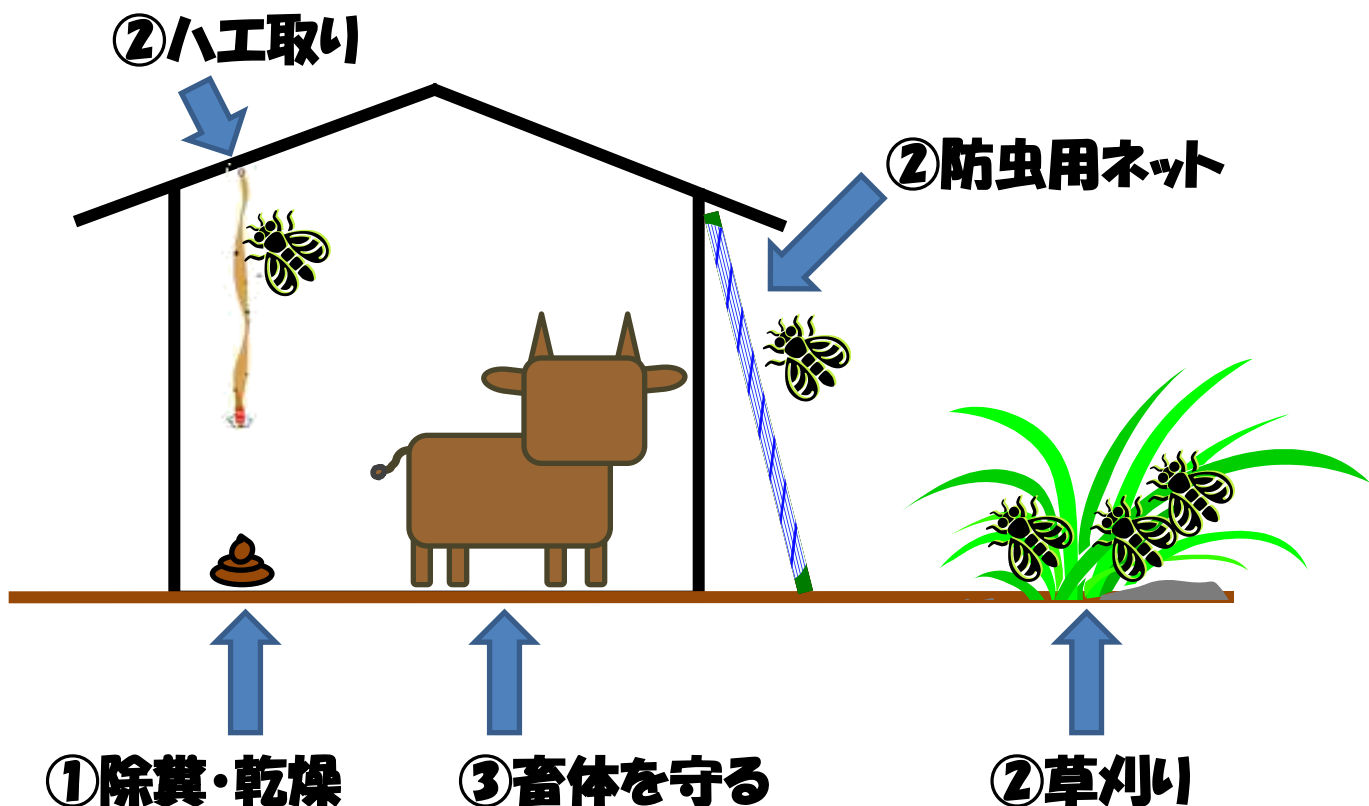
畜舎、堆肥舎への雨水の侵入を防ぎ清潔な畜舎環境を保つ。飼料は倉庫や畜舎内の雨のかからないところに移動し、雨水が侵入しても濡れないようにする。

### ③ 畜舎の雨後の対策 → 病気予防対策の実施

- ・ 畜舎が浸水したときは → 排水を実施、通気を改善、  
畜舎内の乾燥と消毒を実施
- ・ 踏み込み消毒槽は → 雨水や泥が混入 → 消毒効果が低下  
→ 雨の後は消毒槽を点検し、消毒液を交換しましょう。

# 「ハエ対策」も行いましょう！

梅雨・集中豪雨・台風の時節は、床が乾燥しにくいいためハエの発生も多くなります。以下のポイントを参考に、ハエ対策を行いましょう！



## <対策のポイント>

### ①【発生源対策】 ハエを発生させない！

幼虫(ウジ)は、掃除がしにくく、糞便がたまっている湿った場所で成長します。

※水槽・飼槽の下、柱の周り、ゲートの下、スノコ板の下、堆肥舎の壁の隅、など

○糞便等は速やかに取り除く、消石灰をまく、など床を乾燥させる！

○自由に動きまわれない卵、幼虫、蛹の発育を阻害する殺虫剤を使用する！

※昆虫成長抑制剤(IGR剤)。発生源になり得る場所に散布する。

### ②【成虫対策】 舎外からの侵入を防ぐ！

家畜の血をすう「サシバエ」は、吸血後、近くの草むらに移動し休息するので・・・

○防虫用ネットを設置し、ハエの往来を遮断！「入りにくく、出にくい！」

※網目は2ミリほどのもの。ハエの休息場所がある畜舎の側面のみで効果あり。

○畜舎周辺の草を刈り、ハエの休息場所を減らす！

○ハエ取り紙や誘引剤入り殺虫剤を利用し殺虫する！

### ③【畜体保護】 ハエを畜体に寄せ付けない！

(牛)プアオンタイプやイヤータッグ殺虫剤を利用する。

